



聞こえのチェックリスト



難聴は認知症の危険因子の一つとされているので、早めに難聴を発見することが大切です。

聞こえづらい状態が続くと・・・

- 必要な音が聞こえず、危険を察知する能力が低下する
- 家族や友人とのコミュニケーションがうまくいなくなる
- 社会的に孤立し、うつ状態になる

このような状態が続くと、認知機能に影響をもたらす可能性があります。

まずは、自分の聞こえの状態をチェックしてみましょう

- ☐ 会話をしているとき、**聞き返す**ことがよくありますか
- ☐ 相手の言った内容を聞き取れなかったとき、**推測で言葉を判断**することがありますか
- ☐ **電子レンジの「チン」という音**や、**ドアのチャイムの音**が聞こえにくく感じることはありませんか
- ☐ 家族に、「テレビやラジオの**音量が大きい**」とよく言われますか
- ☐ 大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、**聞きたい人の声が聞きづらい**と感じますか

※**受診勧奨基準：1つ以上該当**

チェックが1つ以上ついた場合は、耳鼻咽喉科で診察・診断を受けることをお勧めします。

(難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取り組み実施のための手引きから引用)

※裏面に医療機関の一覧や制度の記載がありますのでご覧ください

医療機関への受診を検討しませんか



・帯広市内の耳鼻咽喉科一覧（受診などに関しては医療機関に直接問い合わせください）

医療機関名	住 所	電 話
いしかわ耳鼻咽喉科クリニック	西5条南24丁目18番地	24-1717
帯広協会病院	東5条南9丁目2番地	22-6600
帯広厚生病院	西14条南10丁目1番地	65-0101
帯広耳鼻咽喉科	西1条南12丁目10番地	22-1928
帯広中央病院	西7条南8丁目1番地3	24-2200
自由が丘みくに耳鼻咽喉科	自由が丘1丁目1番地11	38-3387
たけざわ耳鼻咽喉科	西19条南3丁目35番4号	41-2001
はんがい耳鼻咽喉科クリニック	西16条南1丁目18番地2	41-0300
北斗クリニック	稲田町基線9番地1	47-8000

・身体障害者手帳の交付

受診の結果、聴力が一定の基準に該当する場合は、聴覚の障害者手帳の交付を受け、さまざまな支援や助成を受けることができます。該当になるか、医師にご相談ください。手続きに必要なものは、事前にお問い合わせください。

・補聴器の購入助成(補装具費の支給)

聴覚の障害者手帳の交付を受けると、補聴器購入費用の一部が助成される場合があります。必ず購入前にお手続きをお願いします。手続きに必要なものは、事前にお問い合わせください。

問合せ先



※制度に関する詳細
は、市のホームページに
も掲載しています。

【このチラシに関すること】

帯広市介護高齢福祉課高齢者福祉係
電話：0155-65-4145

【身体障害者手帳・補聴器の支給に関すること】

帯広市障害福祉課相談支援係
電話：0155-65-4147